

21CoDOMoSを用いた教員研修，教育養成教育の実践例

●本資料では、当機構が2020年度に行った「21CoDOMoS ご利用状況アンケート」の回答から、利用者の皆様の実践例を紹介します（一部改編）。

1. 現職者等の教員研修

区分	研修の趣旨	目的・流れ・進め方
現職者研修等	初任者研修	動画を全編流すのではなく、子どもの様子の変化がよくわかる場面をとり出し、15分ほど視聴した。その後、その授業のよさ、教師の役割、板書の仕方などを視点に、グループごとに話し合い、指導・講評をした。
	初任者研修	①事前に学習指導案を配布しておく。研修当日、授業動画をみる。その際、3つのパソコンとプロジェクターを同時に立ち上げ、3つの視点の動画をリンクさせる。 ②指導案を手元を持ち、それぞれが見たい視点の動画の場所へ移動し授業観察を行う。その際、付箋紙にコメントを記して指導案に貼っておく。 ③授業動画終了後、授業者及び授業分析の動画を視聴する。 ④指導案に貼った付箋紙をもとに、グループに分かれワークショップ型の協議会を行う。KJ法でまとめる。 ⑤先ほどまとめたものを全体場で発表し、意見交流を行う。 ⑥課題としてレポートを出す。後日出されたレポートにコメントを入れて初任者全員で共有できるようにする。
	初任者研修	NITS（独立行政法人教職員支援機構）の研修動画などと併用して使用した。
	授業力向上のための研修	特定の授業の動画を視聴した後、その授業についてのグループワーク・発表を行った。またその後、参考としてもう一度授業の一部を視聴し、視野を広げてもらった。
	授業力向上のための研修	あらかじめ授業動画を視聴しておいてもらい、その後、研究協議会を行った。
	授業力向上のための研修	講師が授業の概要や指導のポイントを説明したのち視聴し、その後、グループでの協議を行った。
	管理職に対する授業観察の研修	21CoDOMoSの動画を教材に、ポイントとなるところで一時停止して講師が解説をした。
	管理職に対する授業観察の研修	動画を教材に、ポイントとなるところで一時停止しながら、講師が解説を行った。

2. 大学における教員養成教育

区分	授業名・趣旨・キーワード	目的・流れ・進め方
授業についての理解	教科及び教科の指導法（国語）	授業のイメージを持ってもらうために利用した。 まず視聴すべき授業を指定したあと、以下の通り指示を行った。 ① まずデフォルト（授業背面からの撮影がメイン画面）の状態、1コマ分丸ごとの授業を視聴する。 ② 児童のディスカッションが生じる場面（教師から具体的に時間（10-20分程度）を指定）を、児童中心の場面をメイン画面にして再視聴する。 ③ 授業の進め方について感じたことを、「コメント」に記入する。
	教科及び教科の指導法（国語）	授業見学を目的として、以下のように利用した。 ① 学習指導要領の確認 ② 21CoDOMoSの視聴（授業者視点・授業の進め方） ③ 学生同士のディスカッション ④ 全体共有〔様々な観点〕 ⑤ 21CoDOMoSの視聴（学習者視点・教室全体） ⑥ 指導案づくりへ

区分	授業名・趣旨・キーワード	目的・流れ・進め方
授業 について の 理 解	教科及び教科の指導法（社会）	映像を視聴して、社会科の授業の進め方を確認した後、授業と学習指導案との関係、評価の観点と評価場面との関係などについて考えさせた。考えた結果をレポートとして提出してもらった。
	教科及び教科の指導法（社会）	「実際の授業から学ぶこと」を目的として、教育実習に行く前に視聴した。受講者には、講義前の段階で指定した授業を視聴しておいてもらった。その上で、1回目の講義において、授業評価シート（模擬授業の時使用した、いくつかの観点で授業を評価し、コメントを書くもの）に記入を行った。さらに2回目の講義において、各自の記入した授業評価シートをもとに発表してもらい、教員がそれにコメントする形で討論を行った。
	教科及び教科の指導法（社会）	視聴する授業は附属世田谷中学校公開授業「人間を尊重する日本国憲法」とした。学生には事前に簡単に授業の流れを説明し、メモをとるように指示して映像を見始めた。教師の指示場面では教師が映るアングルを中心に、子どもの活動場面では子どもが映るアングルを中心にして、50分を通して視聴した。教員自身も板書に授業の展開をメモ書きで記録していき、授業の進行を可視化するよう試みた。視聴後、授業の展開を振り返るとともに、授業の題材となったテーマについて、補足解説を行った。授業後の振り返り課題（宿題）として、「教師が取り扱った題材や教材の意図」、「学習活動の意図」、「子どもに形成された知識や態度」などの視点を教員が設定しておき、いずれかを選んで学生自身が授業を分析した結果をLMSに書き込むように指導した。
	教科及び教科の指導法（算数）	小学校教員志望の学生を対象に、実際の授業をもとに算数の授業のポイントをつかんでもらうために利用した。導入、展開、まとめごとに視聴し、授業者の意図・児童の反応等について学生間で意見交換し、ポイントをまとめてもらった。
	教科及び教科の指導法（生活）	生活科授業の実際を見るために利用した。視聴前に授業動画の流れを説明し、視聴の目的や特に注視すべき場面を述べた上で、動画の視聴をした。その後、生活科の指導で優れていると感じた場面を発表してもらい、その中から重要な場面を絞りこみ、その教育的意義を考えて、議論を行った。
	教科及び教科の指導法（生活）	生活科授業との連続性、発展性が見えるコンテンツとして有効であったこと、また、生活科における教師の手立てと社会科における教師の手立ての違いや共通点を確認するうえで有効な内容であったことから、小金井小学校の3年生社会科のコンテンツを視聴した。
	教科及び教科の指導法	授業の構成や教師の意図などがどのように絡み合っているのかについて一通り学んだ後に、本コンテンツを利用した。学生は、事前に学習した「授業を観察する視点」を意識して、本コンテンツを視聴できた。
	教科及び教科の指導法	指導案等の資料を全て事前に配布した上で、授業を最初から最後まで通してもらい、その後、グループワークの形式で、授業検討を行った。
	教育実習の事前指導	小学校の実習配属先でグループに分かれ、各学年に該当する授業動画を閲覧した（複数の教科がある場合は指導案等の資料が充実しているものを指定）。映像を視聴後、観察した授業について議論を行った。
	教育実習の事前指導	導入部分において、配信内容の紹介、意義、視聴の仕方・ポイントの説明した上で、展開部分前半において、指導の流れ、気づき等をメモしながら、配信コンテンツ（中学校国語）の視聴を行った。その後、展開部分後半において、小グループで、メモをもとに感想交流、問題点をめぐる意見交換を行う。後に、各グループからの報告し、全体討議を行い、終結部分において、グループ活動、全体討議等の本日の学修を振り返っての講評を行った。
	教育実習の事前指導	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前に、予め視聴してくる授業動画を指定する。 ・その授業動画を見て、考える課題を事前に提示する。 ・大学授業では、その課題について討論・発表する。 ・その内容を踏まえて、授業者から補足説明を行う。
	授業の観察実習	新型コロナウイルスの影響により小学校での実習ができなくなり、ビデオ視聴とした。6人の教員により、6班に学生を分け、リモートで視聴した授業ビデオについて、各授業で設けた課題にしたがって視聴し、リモート授業で議論し、レポートを書いて提出してもらった。6本のビデオを授業で取り上げた。
	授業を見る視点、授業デザインの視点	21CoDOMoSの授業を指定し、その授業視聴のポイントや観点を提示した上で、授業前に学生が個々に視聴し、見取ったことや気づいたことをメモしてくる。授業では、そのメモをもとに報告して議論を進め、指定した21CoDOMoSの授業における子どもの学びや教師の手だての実相等を理論的に捉えられるようにする。

区分	授業名・趣旨・キーワード	目的・流れ・進め方
授業 について の 理解	授業観の形成	<p>学部の学生（1年生）が授業を視聴して、授業について考え話し合うことで、授業についての知識を得て授業観をつくっていくために利用した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前課題で1つの授業を視聴しておき、気づいたことをLMSに記述する。 ・授業中にその事前課題を元に話し合う。
	授業の観察実習	<ol style="list-style-type: none"> ① 教科書から授業を予想させる。 ② 指導案を読ませる。授業参観の観点を設定する。 ③ 授業の全体を見る。 ④ 班で授業の感想、疑問を話し合う。 ⑤ 疑問が生じた授業場面を確認したり、授業者の説明を見たりする。 ⑥ 個人でまとめを書く。
	教師の意図の理解	<p>宿題として21CoDoMoSにおける特定の授業映像の視聴と、教師が生徒を支援する意図を持ってコミュニケーションを取ろうとしている様子を指摘する課題を課し、その解答を受けて講義をするという授業を行った。</p>
	1年生対象の授業観察	<p>学生は事前に動画を視聴しておき、オンライン講義で動画の内容を振り返り、気づいた点や気になった点を共有した。その後、各自で講義の内容も踏まえて、レポート課題に取り組んでもらい、次の講義のはじめにレポートの内容について講評した。</p>
	児童・生徒への対応の仕方	<p>学部学生に、教師の授業中の行動（子どもに対する対応など）について学ばせるために利用した。</p>
	生徒の認知や認識の理解	<p>生徒の認知や認識の仕方についての理解を深めるために利用した。「生徒は授業中何に刺激を受けて認知が深まるのか？（視覚、聴覚、討論など）」「生徒は授業中どんな状態になった時認知が深まるのか？（問題解決時なのか討論時なのかなど）」などについて、ワールドカフェ形式で討論した。</p>
	授業力の向上等	<p>大学・大学院の授業において使用した。</p> <p>大学の授業においては、授業ビデオを視聴し、大学教員の見方と自分の見方を比べて、課題に答えてもらった。</p> <p>大学院授業では、3時間を使って、1つの授業ビデオを視聴し、議論した。授業を文節化し、それぞれの文節ごとに小グループでテーマを決めて話し合いを行った。最後に考察結果をプレゼンし、共有した。</p>
	授業の観察実習	<ul style="list-style-type: none"> ・授業概要、指導案を別添資料として事前活用する。 ・授業視聴後の共同研究（協議）の予定を示す。 ・授業視聴後にグループで話し合う。（司会、記録、報告者等の役割分担） ・全体協議に各グループの報告者が報告をする。4グループ/12グループ ・全体報告担当ではないグループは、まとめ内容を報告する。
授業 づくり ・ 指導 案 作成	教科及び教科の指導法	<p>学習指導案を作成するのが初めてという受講者がほとんどであったため、はじめに21CoDoMoSの動画を参照して授業の記録をとる課題を課した。その後、教科の指導に必要な基礎的事項について解説し、最終的に学習指導案を作成・添削した。</p>
	教科及び教科の指導法（国語）	<p>小学校国語科の指導案の作成を目的とした授業において利用した。</p> <p>指定の教科書を読み進めながら、指導案を作成するための参考事例として何度か映像を視聴した。</p>
	教科及び教科の指導法（国語）	<p>教育実習及びそのための教材研究・学習指導案作成の参考として視聴した。ビデオ視聴の前に、以下の資料を紹介し、それらも参照させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教育の情報化に関する手引－追補版」20200701 ・「国語科の指導におけるICTの活用について」20200911 ・「国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の取組状況について」20201209
	教科及び教科の指導法（理科）	<p>先に内容を受講者に示して、導入・展開の工夫を各自で考えさせ、実際に視聴した後で、協議会をグループで行い、全体で共有した。</p>
	教科及び教科の指導法	<p>指導案の書き方を指導するため（プロトコル作成）に利用した。</p> <p>指導案の書き方のはじめに、一つの授業をみてもらい、授業がどう流れるのかを確認した上で、その授業について協議し、指導案にしていっていった。</p>
	教育実習の事前指導	<p>教育実習の事前指導の授業で、以下のような流れで用いた。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 授業の流れを確認する。 ② 「自分の教育実習に活かせること」をメモにとりながら、授業の動画を視聴する。 ③ 自分の教育実習で一番活かせると思ったことをレポートに書く。 ④ 全員のレポートを読んで、話し合う。

区分	授業名・趣旨・キーワード	目的・流れ・進め方
授業づくり・指導案作成	教育実習の事前指導	教育実習前の授業研究のために利用した。映像を視聴し、授業の進め方に関して、感想や気づいた点などを書いてもらった。
	授業の観察実習	新型コロナウイルスの影響により授業参観が制限されたため、1回分の授業でビデオ視聴を行い、2回目の授業で指導案などを読み込み、課題レポートの作成、3回目の授業で課題レポートを持参して、対面授業でのディスカッションを行うというのを1サイクルとして、2サイクルを実施した。
	授業例の提示	一般に行われている授業例として、以下の通り使用した。 ①授業に使われる科学的な内容について解説する。 ②実際の授業ではどのように扱われているか観察させる。 ③同じ内容を教える場合でも様々な取り組み方がある事を説明する。 ④技術的に重要な点を取り込む形で授業を行うとした場合、どのような教材外衣のかを含め、授業案を作るように指示する。 ⑤調査検討後、グループごとに報告会を開き質疑を行う。
	授業をつくる視点や授業をみる視点	学習指導案と実際の授業展開とを比較して、学習者自身の学習指導案作成に活かした。
	授業観察と授業づくりの視点	事前に授業ビデオ（全体）を視聴し、受講生各自が気になった点をメモにとり、学習指導要領に照らして「授業づくりと実践の工夫」についてまとめ、授業では受講生がそれをもとに情報・意見交換をおこない、「授業観察と授業づくりの視点」についてまとめた。
	授業観察のスキル，算数科「問題解決型学習」	事前（前週）に指導案をもとに、視聴する授業で使用する問題及び課題を受講生が解答し、指導計画に対する着目点などを200字程度で記載し、授業者に送付する。授業冒頭10分は受講生が各自で視聴する。残り35分は、受講生が各自で視聴またはZoomなどで同期して視聴することを選択する。視聴後、4～5名のブレイクアウトセッションに分かれ、授業に関するリフレクション（印象に残った児童の学び・疑問点etc）を交流する（10～15分）。ブレイクアウトセッションでは進行役・記録役を1名ずつ定める。記録役が箇条書きで④の交流で出た話題を書き留め、全体セッションに戻った際に、Zoomチャットに交流の話題を送信する。送信された箇条書きの話題内容に対して、授業者がコメントを加える（15分程度）。問題・課題への取組・動画の視聴・事後の交流・授業者からのコメントを踏まえ、リフレクションレポート（800～1000字程度）を作成する。
	授業実践の具体的な姿の提示	①同じ教材を読んで、学生が自分だったらどのような授業をするかを考える ②授業を視聴する ③自分の想定と違うところ、似たところを挙げる。 ④違うところの価値を考える。またそのために必要な教師の力量はどのようなものかを考える。
	1年生対象の授業観察	コンピテンシーについて解説した後、1つの授業を学生に見てもらい、その中で行われている指導をとりあげて記述・議論させた。
	汎用的スキル，資質・能力	まず、新しい学習指導要領についての理解、特に、教育課程特別部会のまとめ等の段階で、汎用的スキルをはじめとしたこれから求められる資質・能力に関する議論がどのようになされてきたのかという点についての理解を深めた上で、下記のような取り組みを行った。 ・授業ビデオを視聴 ・視聴後の意見交換 ・受講者が授業ビデオで示された汎用的スキルに関し、自分なりの指導案を作成 ・指導案検討
	カリキュラムデザイン	受講生に向けて、提示された探究テーマに対してレポートを書くことを求めた。受講生は多様な文献資料を踏まえてテーマを考察する必要があるため、参考資料として活用した。「探究的な学び」を推進するカリキュラム設計に関する授業において、「数学（中2）AEDで救える命を増やそう」を紹介した。
プロジェクトベースド・ラーニング	・21CoDOMoSで映像を見る前に、「合意形成」「PBL授業」など概念の説明を講義する。 ・学生に実際にこうした手法を取り入れた授業の様子を見せ、実際の授業内でどのように用いられているか、またどのような効果／課題がみられるかを分析する。	

区分	授業名・趣旨・キーワード	目的・流れ・進め方
授業の見方・授業記録	教科及び教科の指導法（社会）	授業記録の取り方を事前に講義したうえで、映像資料を視聴させ、記録を書かせた。2回映像を流した。学生は記録をとるのが初体験であったので、発言のテロップが書かれていたり、板書があるのが、とても役に立った。それを手がかりに記録をとっていた。
	教科及び教科の指導法（保健体育）	保健体育の分析法をいくつか紹介した上で、動画を視聴してグループでレポートを提出させた。その後、学習者相互でそれを見合せて意見集約を行った。同じ動画を異なる角度から、何度でも分析することができるので、大変使い勝手が良かった。
	教育実習の事前指導	学部3年生に、自分の授業作りのヒントを得てもらうこと、授業を見る視点を獲得してもらうことを目的として利用した。教育委員会と協働開発した研究授業支援シートに沿って、授業観察を行った。
	教育実習の事後指導	授業の動画を大学の授業（教育実習事前事後の指導）の一環として活用した（コロナ禍のない例年は授業参観にて行っていた内容の代替）。まず、授業記録の取り方の種類と目的を説明し、動画の視聴にあたっては全体記録を取ることを目的とした。登録の方法（大学のメールアドレスで登録することを推奨）、視聴する動画の指示などをPDFで配布し（マニュアルのようなものを作成）、当該授業の中の特に興味深いと思った場面を10-15分の授業記録を取って提出させた。その際、教師と児童のやりとりに着目する観点と、児童同士の学びのやり取りに着目する観点なども取り上げたため、様々な角度で録画していただいたことは、とても役立った。
	授業分析	まずは授業記録の取り方及び授業分析の仕方について教授したあと、21CoDOMoSの任意の授業（1時間分）を見ながら授業記録を取った。その後、学生をグループに分け、自身がとった授業記録に基づいて授業の分析を行った。
	授業分析	まず、講師から授業分析に関する講義を行った後に、各自で関心のある授業を選択し、分析、記述を行った。その後、それぞれで分析を行った記録をグループで発表し合い、共有した。
	教育の方法および技術	教室の大モニターで映像の一部を視聴し、同じ授業が立ち位置によって全く違って見えることを確認。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業を各自のタブレットやスマホで視聴、自己流で記録を取る。 ・ 小グループで、授業をどう見たか、どのような記録をとったか交流。 ・ 指導案を配布、授業者のコメントを全体で視聴。その後もう一度同じ授業（全部でも気になったところでも）を個別に視聴し、記録を充実させる。 ・ 先ほどとは別の小グループで、授業をどう見たかについて交流。
1年生対象の授業観察	授業を参観することで、授業者のねらい（目標）、内容、方法について考察させることを目的とした。 ①授業観察の視点についての指導 ②授業観察（動画の視聴） ③観察を通じた考察結果の整理（レポート提出）	
その他	児童・生徒の評価	①授業をどのように評価するかを観点を決めてルーブリック表を作成する。 ②全員で授業を観察する ③グループ毎に、授業について協議しながらルーブリック表に基づいて評価する。 ④必要に応じてルーブリック表を改善する。
	教育実習の振り返り	教育実習終了後に受講者に授業動画を視聴させ、自分の教育実習を振り返りながら学ぶべき点についてディスカッションした。